

全校集会 学校長の話（2026年6月30日）

- 先週の金曜日は、大雨危険警報が出たため、臨時休校になりました。大阪市内の学校は、すべてお休みでした。皆さんは、どのように過ごしましたか。
- ちょうど朝 8 時から、ワールドカップの日本戦がありましたね。中には、「これはサッカー休暇や」と思って、少し喜んだ人もいたかもしれません。家で安全に過ごしながらかーを見る。それはそれで、よかったですかと思えます。
- ただし、忘れてはいけないことがあります。臨時休校は、ただのうれしいお休みではありません。皆さんの命を守るためのお休みです。大雨の中で登校すると危ない。川や道路の様子も急に変わる。だから学校を休みにしたのです。次に同じようなことがあったときも、「休みや、ラッキー」だけで終わらず、「今日は安全のために家にいる日なんや」と思って過ごしてください。
- さて今日は、先日亡くなられた美輪明宏さんの話をします。歌手であり、俳優であり、長い間、テレビや舞台で活躍された方です。皆さんは名前を聞いても、あまりピンとこないかもしれません。でも写真を見ると、「あ、この人見たことある」と思う人もいます。少し前には、美輪さんの写真をスマホの待ち受けにすると金運が上がる、という話が流行ったこともありました。
- 美輪明宏さんは、長崎県の出身です。10 歳のとき、長崎で原子爆弾にいました。ご自身は大きなけがをされなかったそうですが、まわりでは多くの人が亡くなり、助かった人も長い間苦しみました。その経験から、美輪さんは「戦争は絶対にしてはいけない」「平和が何より大事だ」という思いを、生涯大切にされました。
- その美輪さんが、生前に残された言葉があります。
- 「こんな世の中を生き抜く武器は、愛の言葉しかありません。この世のすべての問題を解く鍵は愛です。愛があれば戦争なんか起こりません。」
- ここでいう「愛」は、恋愛だけのことではありません。中学生の皆さんにとっては、少し照れくさい言葉かもしれませんが、でも、美輪さんが言われた愛は、もっと広い意味の愛です。人を人として大切にすること。相手を、どうでも

いい存在として扱わないこと。私はそう受け止めました。

- 以前、集会で「アガペー」という言葉を紹介しました。古代ギリシャ語の愛を表す言葉の一つで、「無償の愛」「隣人愛」などと訳されます。難しく聞こえますが、今日の言葉で言えば、「見返りを求めず、目の前の人を大切にする」ということです。
- 悪口も、いじめも、差別も、そして戦争も、根っこにあるのは「相手を大切にしない心」です。「あの人は傷ついてもいい」「自分たちと違うから関係ない」そう思ったところから、人を傷つける言葉や行動が始まります。
- では、私たちに何ができるのか。大きなことを言わなくてもいいのです。困っている人に気づく。しんどそうな人に声をかける。嫌な言葉が出そうになったとき、少し止まる。自分を大切にすると同じように、隣の人も大切にすること。その小さな積み重ねが、美輪さんの言う「愛」に近づく一歩だと思います。
- 美輪さんは、最後に「ありがとう」と言って、静かに目を閉じられたそうです。最後まで、人への感謝を言葉にされた方だったのだと思います。
- いつも同じような話をしていると思うかもしれませんが、でも、同じことを何度も言うのは、それだけ大事だからです。自分を大切に、隣の人を大切に。優しい言葉を一つ増やす。きつい言葉を一つ減らす。それが、これからの世の中を生きていくための、本当に強い力になると思います。

